

好みや視聴環境に応じたカスタマイズ(音声)

- マルチレイヤー映像符号化によるサブコンテンツ視聴と、オブジェクトベース音響による音声オブジェクトの差し替えを連動させて、放送番組を個人の好みに合わせてカスタマイズできます。
- オブジェクトベース音響による番組音声のカスタマイズ
 - ・ 完成した番組音声ではなく、音声オブジェクト(ダイアログや背景音)ごとの音声信号と音響メタデータを伝送、受信機で受信装置に合わせて再構成します。
 - ・ 自分が応援するチーム目線の解説音声に差し替えたり、解説音声だけの音の大きさを大きくしたりしてスポーツ観戦するなど、番組音声を調節できます。
 - ・ 最新の音声符号化方式:MPEG-H 3D Audio Baseline profile level 4*を採用しています。

*ISO/IEC 23008-3:2022準拠、最大伝送56チャンネル、同時デコード28チャンネル、22.2マルチチャンネル音響にも対応

